

学校教育目標	「たくましく ころゆたかに 生きていく子」
	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなことにとりくみ、できることをひろげよう。 (知) ○ じぶんをたいせつにし、ひとにやさしくしよう。 (徳) ○ じょうぶなからだをつくろう。 (体) ○ ともだちをつくり、たすけあおう。 (公) ○ あたらしいことにチャレンジしよう。 (開)

学校概要	創立 52 周年	学校長 井戸 大輔	副校長 市野知子・伊藤正俊	2 学期制	指定地域等	
	幼児・児童・生徒数: 226 人	幼稚部: 人	小学部: 102 人	中学部: 58 人	高等部本科: 66 人	専攻科: 人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立、社会(集団)適応能力 ・自己有用感、自己肯定感 ・自己選択、自己決定する力 ・コミュニケーション能力

育成を目指す資質・能力を踏まえた 「()年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ○「できるようになりたい」という気持ちを持ち、主体的に学習に取り組む子ども ○他者や社会との関わりの中で、働くことや社会の中でよりよく生きる喜びを感じる子ども ○余暇活動を通して、家族や友だちと楽しく過ごす子ども ・学び続ける教職員集団を目指し、教職員一人ひとりが主体的に校内や校外での研修に取り組み、専門的知識を向上させる。 ・児童生徒の実態把握や支援方法等に関する議論を組織的に行い、チーム力を高めることで、子どもたちのキャリア発達を適切に支援していく。 ・子どもたちが自己有用感に裏付けられた自己肯定感の高まりを感じられるように努めるとともに、授業や地域協働を通じて、学校が地域と関わりをより持てるように働きかける。

中期取組目標	(1) 生きる力を育てる学校 ・「自分らしく生きる力」や「丈夫でたくましい心と体」を育みます。・一人ひとりを大切にして、個々に対応した指導の充実を図ります。
	(2) 主体的な活動や学びを引き出す学校 ・自分の思いを伝える力と友だちと一緒に学校生活を楽しむ気持ちを育てます。 ・楽しくてわかりやすい、丁寧な指導を行い、見通しを持って安心して活動できる学習環境を整えます。
	(3) みんなが集まる学校 ・豊かな社会性や人間性を育むため、交流学习や地域の人々との活動を積極的に行います。 ・学校の様子や子供の支援のあり方について発信や連携を高めます。

重点取組分野	具体的取組
知 学習活動	月の始めにICT機器の活用について学級で話し合いの場を設けるようアナウンスを行う。誰もが話し合いの主となるように、学級で話し合いの進行者をローテーションしていくようにする。活用表を誰もが見やすく、振り返りやすくするためにフォルダの整備を行っていく。
担当 研究・研修部	
徳 豊かな心	①個々に対応した指導の充実を図り、自分が大切にされていると感じられる環境をつくる。 ②集団生活を通して、ともに活動する楽しさや喜びを感じられるように支援するとともに、自分や相手のよさに気づき、自分や相手を大切に作る気持ちを育む。
担当 人権教育推進委員会	
体 健やかな体	食事や運動を通し、生活習慣病の予防となる健康管理に取り組む。
担当 保健支援部	
公開 地域社会協働	①校内の教育活動について、学校として計画的に発信する機会を設け、保護者、地域、関係機関へ発信する。 ②校内、学校間、地域での行事や交流などの機会を捉えて、教育活動の積極的な改善に繋げていく。
担当 学校経営推進部	
いじめへの対応	いじめに限定せず、気になる言動について校内で共有する。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	研究授業における指導者の設定方法や指導案検討の進め方を定め学校全体で取り組んでいく。指導者の対象範囲を広げることで幅広い視点で授業づくりのアイデアを共有できるようにし、研究授業を通して学校全体の授業力向上を図る。
担当 研究・研修部	
センター的機能の取組	①学校ホームページを活用して、地域だけでなく広く本校の取り組みを発信することにより、障がい理解啓発に努める。 ②特別支援コーディネーターからのお知らせ、教材・教具の公開、教員研修への取組等について公開することで、各関係機関への情報提供機能を担う。
担当 情報管理部	
防災	①災害発生から学校再開までの教職員の動きの理解を高め、災害に向けての備えを学校全体で取り組んでいく。 ②様々な災害を想定した訓練(避難訓練、引き取り訓練)や、防災備蓄の確保などを通して、災害時に適切な対応がとれるようにする。
担当 防災安全支援部	
地域協働キャリア発達支援	卒後の目標を見据えた、小中高の進路指導の流れを築く。進路指導について系統的な各学部の取組が必要である。分掌として教員を対象とした本校の進路の実態を共有し、小・中・高の継続的な取組ができるように研修会などの機会を企画する。
担当 進路・教育相談部	
保健管理・保健教育	①心と体の学習に関する校内の取り組みの整理を推進する。 ②心と体の学習に関する授業実践を各学年が組織的に取り組むことを推進する。
担当 教育課程検討委員会	